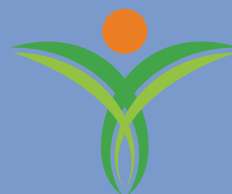


# 由布市 議会だより



No.34

2014年5月号

## ありがとう 138年の思い出



(閉校式 平成 26 年 2 月 16 日)

## CONTENTS

- 平成26年第1回定例会の概要 ————— 1～5
- 委員会報告 ————— 6～8
- 一般質問 ————— 9～16
  - ❑加藤 幸雄 議員「由布市が管轄する橋、トンネル、道路等について」
  - ❑加藤 幸雄 議員「由布市水道事業について」
  - ❑二ノ宮健治 議員「26年度市政運営の基本方針について」
  - ❑生野 征平 議員「塚原の市有地「メガソーラー契約解除・売却撤回及び賠償」について」
  - ❑田中真理子 議員「青少年のスポーツ振興について」
  - ❑野上 安一 議員「26年度予算編成方針と26年度重点施策について」
  - ❑佐藤 郁夫 議員「庄内中央公民館の建て替えについて」
  - ❑溝口 泰章 議員「グローバル化対応の英語教育について」
  - ❑洲野けさ子 議員「地域防災の強化について」
  - ❑太田洋一郎 議員「日出生台演習場へのオスプレイ配備の可能性について」
  - ❑新井 一徳 議員「交通事故防止対策について」
  - ❑工藤 俊次 議員「消費税率の引き上げに伴う使用料の値上げの見直しについて」
  - ❑甲斐 裕一 議員「消防庁舎建設に伴う周辺整備、道路網の整備について」
  - ❑小林華弥子 議員「年金病院の公的病院としてのあり方について」
  - ❑長谷川建策 議員「由布院駅前通り、国民宿舎及び社協跡地利用について」
- 請願・陳情の結果 ————— 裏表紙

# 平成26年 第1回定例議会が開かれました。

## 〈2月26日～3月18日〉

通称「予算議会」と言われる定例会で、今回提案された報告1件、諮問1件、議員発議2件、議案49件、請願1件、陳情1件、を審議しました。その結果、議案1件を継続審査とし、他の議案を原案通り適任・可決・採択としました。

## 平成26年度当初予算が決まりました。

### 一般会計の総額は、187億655万円

対前年度予算比12億9,884万円(7.5%)増の超大型予算

### 歳入では

市税総額で37億5,883万円(0.5%の増)、地方交付税は、54億3,528万円(5.5%の増)、基金繰入金5億1,138万円(32.6%の増)、市債35億7,440万円(23.5%の増)などが主なものとなっている。

特に市債は、旧合併特例債15億7,870万円、辺地債・過疎対策債2億7,700万円、緊急防災・減債事業債10億6,870万円等で、全て優良起債借り入れとなっている。

### 歳出では

重点施策として、「行財政基盤の確立」「教育環境整備施設の推進」「農業振興施策の推進」「観光振興施策の推進」「健康立市施策の推進」「地域の安全・活性化施策の推進」「環境・景観施策の推進」の7つの重点枠に、49事業、19億3,913万円を計上。

### 市民一人当たりにとすると…

## 一人当たり予算額524,566円(486,425円)

(H.26.3月末人口35,661人で算出)

|                               |                                |                                  |                                |                                                 |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------|
| <b>議会費</b><br>5,697円(5,340円)  | <b>総務費</b><br>78,266円(66,534円) | <b>民生費</b><br>160,720円(151,711円) | <b>衛生費</b><br>43,739円(41,259円) | <b>農林水産業費</b><br>23,554円(23,618円)               |
| <b>商工費等</b><br>5,200円(4,159円) | <b>土木費</b><br>37,239円(36,065円) | <b>消防費</b><br>47,119円(27,011円)   | <b>教育費</b><br>67,327円(76,997円) | <b>公債費</b><br>借金の返済などに充てるお金<br>54,375円(52,341円) |

※カッコ内は25年度当初予算

### □当初予算についての質疑

Q. (議員) 通信基盤整備事業の内容はどういったものか。

A. (執行部) 由布市内、特に庄内地域を中心とした、光ファイバー網の事業。

Q. (議員) 地買地消事業やおもてなし伝承事業・おんせん県大分事業等の内容はどういったものか。また、観光予算のボリュームが大きいことの効果などを含めて、ばらまき予算になっていないか。由布市のオリジナル事業が少ないのではないか。

A. (執行部) 地買地消事業は市内の商工の活性化策などで、25年度は1回であったものを、26年度は年に2回展開するための予算。伝承事業は、由布市に訪れる観光客に観光資源だけでなく、地域の文化や歴史・暮らしなどの地域資源を提供し、観光に活用する事業。おんせん県大分キャンペーンや民間企業などの観光を通じての地域活性化のための積極予算を組んでいる。民間団体と一体となった組織一元化の検討などのための予算。

Q. (議員) 防災ラジオの予算の内容はどういったものか。

A. (執行部) 26年度の早々から予定している「防災ラジオ」関係予算。由布市全域にラジオを通じての緊急情報発信の中継局設置費や、管理費・放送費等の予算。

## 26年度当初予算の主要事業の概要

各常任委員会で審議された新規事業等を中心にお知らせします。

### ◆総務常任委員会

(単位：千円)

| 事業名          | 予算額     | 事業概要                                                |
|--------------|---------|-----------------------------------------------------|
| 庁舎建設事業       | 116,200 | 本庁舎方式移行のための庁舎増改築。本年度については駐車場造成工事と旧館の改修工事を行う。        |
| 消防庁舎建設事業     | 831,072 | 老朽化並びに無線デジタル化対応のため、消防本部庁舎と湯布院出張所の建設工事(継続費)を行う。      |
| 総合計画策定事業     | 21,232  | 【新規】第2次総合計画策定に伴う、審議会委員報酬や計画策定時にかかる各種委託料             |
| 由布市に住みたい事業   | 1,950   | 【新規】空き家及び移住定住対策費用。登録物件の看板設置やリフォームにかかる費用などの助成を行う。    |
| 生活関連情報通信整備事業 | 200,028 | 【新規】光通信ネットワークが未整備となっている庄内地域等の光ファイバー敷設事業。平成28年度までの事業 |

### ◆教育民生常任委員会

| 事業名           | 予算額       | 事業概要                                                 |
|---------------|-----------|------------------------------------------------------|
| 健康立市推進事業      | 6,033     | 「健康長寿」と「生活の質の向上」に向け、各種健康施策を展開することにより健康立市・由布市の実現を目指す。 |
| 在宅高齢者支援事業     | 2,000     | 【新規】福祉避難所の物資、機材等を整備することにより、災害救助体制の充実を図る。             |
| 5歳児健康診査事業     | 1,659     | 【新規】スムーズな就学に向けてその準備期に5歳児の発達の確認を行う。                   |
| 幼・小・中学校施設整備事業 | 1,067,635 | 挟間幼稚園、湯平小学校、3中学校体育館、由布川小学校プール等の、改築や耐震補強工事等を行う。       |
| 地域協育推進事業      | 8,179     | 子どもたちの育成を地域が一体となって取り組んでいく体制を確立する。(放課後子ども教室・家庭教育支援事業) |

### ◆産業建設常任委員会

| 事業名           | 予算額    | 事業概要                                                        |
|---------------|--------|-------------------------------------------------------------|
| 就農支援事業        | 13,467 | 意欲的な就農志望者の支援を目的に技術や経営方法を学ぶための研修や、農業を始めるための準備等支援する。          |
| 地産地消推進事業      | 15,729 | 地域資源を活用した商品開発や特産品のブランド化に取り組み、6次産業化の普及を促進する。                 |
| 鳥獣被害防止特別対策事業  | 7,997  | 農林産物被害の軽減を図るため電気柵・鉄線柵の設置や集落全体の被害防止対策活動を支援する。                |
| おんせん県おおいたDC事業 | 23,418 | 【新規】H27年夏期における「おんせん県おおいたDC」の開催に向けた「観光資源磨きあげ」「おもてなし意識向上」を推進。 |
| 地買地消推進事業      | 25,800 | プレミアムつきお買物券発行により、消費者の利便性向上及び市内での購買力の活性化を図る。                 |

### □当初予算についての討論

(反対：小林華弥子) 前年度対比7.5%増の大型予算。その中身を見ると、具体的には消防庁舎建設や市役所庁舎建設など、大規模な公共施設の建設の投資的事業で、財源も起債によるものであり、庁舎建設費用が計上されていることについて反対。

(賛成：二ノ宮健治) 将来に向けた必要不可欠な施設整備のためであり、限られた財源の範囲内で重点施策の取り組みと財源起立のバランスを図りながら、議会及び監査からの指摘も十分考慮した予算になっているので賛成。

## 特別会計予算

可決

### ◆26年度特別会計予算

国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・簡易水道・農業集落排水・健康温泉館の6特別会計と、水道事業会計の予算計上が行われた。

#### □水道事業会計予算についての質疑

Q. (議員) 監査指摘の有収率の改善点について、26年度予算がどのように反映されるのか。また、新しい水源確保のための「電気探査」の進捗は。

A. (執行部) 老朽管更新工事設計委託金や漏水調査委託金等を計上している。電気探査事業などの状況については、今後の水道運営委員会等でお知らせしていきたい。

詳細については各委員会報告をご覧ください。

## 条例制定

可決

### ◆消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

Q. (議員) 由布市の消費税算出根拠が、まちまちではないか。どのような事務処理をおこなっているのか。市民にとってもわかりにくいのではないかと。

A. (執行部) 関係する課で、何回も会議をかさねてきた。算出根拠の端数の関係で、負担する皆さんにご迷惑が、かからないようにしたい。

### ◆由布市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の制定について

### ◆由布市指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

### ◆由布市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

## 条例改正

継続  
審査

### ◆由布市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

農業委員会委員の報酬を、年額(委員の場合)17万円を、月額2万1千円に引き上げるための条例改正。(審査の詳細は委員会報告に記載)

### ◆由布市障害程度区分認定審査会委員の定数等を定める条例の一部改正について

### ◆由布市都市公園条例の一部改正について

### ◆由布市簡易水道事業給水条例の一部改正について

### ◆由布市奨学資金に関する条例の一部改正について

Q. (議員) 合併前の庄内町の奨学資金制度であったが、多額の1億800万円の資金を市に寄付するという貴重な財源。由布市に移管後は、様々な改善点などを精査して検討すべきでは。

A. (執行部) 連帯保証人制度などの改善点は、奨学会の意見を聞き研究したい。

### ◆由布市消防手数料条例の一部改正について

可決

## 指定管理の指定

可決

由布市指定管理者選定委員会が選定した、下記の2施設を指定管理することについて、議会の議決を求めるもの。

| 施設名                 | 指定管理者                 |
|---------------------|-----------------------|
| 由布市庄内特産品販売所「かぐらちゃや」 | 縁（えにし）の里 代表者 谷口 京子    |
| 由布市狭霧台園地            | 由布岳南山麓景観保全機構 代表 真崎 寛彦 |

Q.（議員）今回の指定管理の詳細な選定経過は。

A.（執行部）「選定委員会」で審査することになっている。申請者から聞き取り調査やプレゼンなどをおこない、審査員の持ち点制度で審査し、各審査委員が判断した結果となっている。

## 市道の認定及び廃止

可決

- ・庄内地域の、「長宝団地なごみの里線」「長宝団地1号線～5号線」「なごみの里1号線～2号線」の8路線を新たに市道として認定するもの。
- ・庄内地域の、市道路線「小野屋櫟木線」を廃止し、「小野屋櫟木線」「櫟木線」の2路線に分割し、市道の名称、並びに始点・終点の確定を行うための認定。
- ・庄内・挾間地域の、市道路線「蛇口時松線」「時松中央線」を廃止し、「時松中央線」「蛇口線」とする、市道の名称変更、並びに始点・終点の確定を行うための認定。
- ・湯布院地域の、市道路線「並柳若杉線」「みねざき線」「佐土原重見線」を廃止し、「佐土原若杉線」「みねざき線」「佐土原重見線」とする、市道の名称変更、並びに始点・終点の確定を行うための認定。

## 議員発議

可決

- ◆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡大を求める意見書
- ◆労働者保護ルールの堅持を求める意見書

## 人事

適任

- ◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の任期満了（平成26年6月30日）に伴い、宮岳文隆氏（湯布院町川西）の推薦について議会の同意を求めるもの。

## その他

可決

- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◆由布市過疎地域自立促進計画の変更について

## 補正予算

可決

### ◆25年度一般会計補正予算（第4号）

**7,805万円を減額**

**累計額 181億7,781万円**

今回の補正は、今年度の事業確定見込みによる調整と繰越明許費補正が主なもの。

- Q.（議員）市に移管後、田北奨学会の事務はどのようになるのか。また、入湯税の増額の738万円は、人数に換算すると何名の増加なのか。
- A.（執行部）教育委員会の「教育総務課」が担当。入湯税は、宿泊客等で5万260人を見込んでいる。
- Q.（議員）福祉対策の住宅改造助成金や合併浄化槽などの市民密着の予算減額が目立つが、市費充当額だけでも市民に独自の支援策（補助金交付）等は考えられないのか。
- A.（執行部）国や県とセットで行う補助事業なので、困難な面が多い。今後これからの研究課題としたい。
- Q.（議員）ハード面の事業で、事業の減額予算や繰越予算が目立つが、今後の事業実施見込みはどうか。
- A.（執行部）種々の事情で補助対象にならなくなった事業や、天候などの自然現象、さらには用地交渉・入札関連の経過等で、工事の遅れがでた事業があった。すでに工事に着工していて、25年度中に完成が困難な部分も繰越を行っている。全力を挙げて早期完了を目指したい。

## 特別会計補正予算

可決

### ◆25年度特別会計補正予算

国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・簡易水道の4特別会計と、水道事業会計の予算補正が行われた。

### 大分県後期高齢者医療 広域連合議会報告

- 会議名／大分県後期高齢者医療広域連合議会  
定例会（平成26年第1回）
- 開催日／平成26年2月24日
- 場 所／大分県医師会館

#### ◆平成26年度大分県後期高齢者医療広域 連合一般会計予算（可決）

事務局運営費の予算で、総額7億2,870万6千円。

#### ◆平成26年度大分県後期高齢者医療広域 連合特別会計予算（可決）

療養給付や保健事業等の予算で、総額1,757億7,612万5千円。

※その他に、補正予算3件、条例改正1件を審議し、可決した。

報告者：大分県後期高齢者医療広域連合議会議員

佐藤人巳

### 由布大分環境衛生組合議会報告

- 会議名／由布大分環境衛生組合議会定例会  
（平成26年第1回）
- 開催日／平成26年2月14日
- 場 所／由布大分環境衛生組合

#### ◆平成26年度由布大分環境衛生組合一般 会計予算（可決）

総額6億5,939万6千円、対前年度比1.10%の増額予算。

※その他に、消費税率の改正に伴う条例改正、平成25年度補正予算を審議し、可決した。

報告者：由布大分環境衛生組合議会議長

溝口泰章

## 議会構成の変更

3月18日（第1回定例会最終日）に副議長選挙と常任委員の所属変更が行われ、次の通り議会構成が変わりました。

### ◆副議長の選挙（指名推薦）

当選人 太田正美

### ◆常任委員の所属変更

小林華弥子

総務常任委員会から産業建設常任委員会に変更

## 総務委員会報告

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する

る法律の準用規定により、総合計画を変更する議案。

全員一致で可決すべきと決定した。

### ■由布市過疎地域自立促進計画の変更について

由布市過疎地域自立促進計画の変更による議案。

全員一致で可決すべきと決定した。

### ■由布市狭霧台園地の指定管理者の指定について

大分県から施設を譲り受けたことから、管理・運営するために指定管理者を指定する議案。

全員一致で可決すべきと決定した。

### ■平成26年度由布市一般会計予算

前年当初予算比12億9884万7千円の増。率にして7.5%増。総額を187億655万3千円とする議案。継続事業では、消防費の消防無線デジタル化対応事業が総額6億1,841万5千円、湯布院消防出張所建設事業が総額2億479万5千円、各々2年かけて実施。債務負担行為では、総合計画策定補助業務委託を2年かけて実施するための措置。情報通信基盤整備事業補助金は3年かけて実施する光ネットワークの市内全域の整備に伴うもので27、28年度



総務委員会審査

分4億円計上。地方消費税交付金は6,941万6千円の増額を見込んでいる。歳出の主なものは、企画費の総合計画策定事業2,123万2千円。第2期総合計画については、委託金額が大きすぎるとの意見が出され、地元大学や職員の積極的な参画を図るべきとの意見があった。電子計算費では、生活関連情報通信事業242万8千円を計上。行政事務情報化推進事業でマイナンバー制度関連経費とコンビニ収納関連経費。コンビニ収納は27年度からスタートの計画。入湯税住民税を除くほぼ全ての税・料について対応できるとの説明。地域振興費では、由布川地域都市再生整備事業2億504万5千円を計上。消防費では、消防無線デ

## 教育民生委員会報告

### ■由布市奨学資金に関する条例の一部改正

財団法人庄内町田北奨学会の解散により、由布市奨学会と統合し、奨学会の名称を変更するもの。

由布市奨学基金の増資を行うとともに、名称を継承するため、「由布市奨学会」を「由布市・田北奨学会」に改めるもの。

委員会では、「保証人の見直しや貸付金額の増額」などについての意見がだされ、これについて検討するよう要望した。

全員一致で可決すべきと決定した。

### ■平成26年度予算（一般会計）

平成26年度予算において歳入では、消費税引上げに関連して臨時

デジタル化対応事業2億4,008万3千円、消防庁舎建設事業8億3,107万2千円を計上。その他の意見として収納課から過年度未納額1億2千万円改善できたとの報告があった。

賛成多数で可決すべきと決定した。

福祉給付金給付事業並びに子育て世帯臨時特例給付金給付事業分で1億3,090万7千円、学校施設環境改善交付金として1億3,858万3千円が主なもの。

歳出では、民生費で、聖愛保育園の園舎建替え事業の施設整備補助金として1億3,819万2千円、衛生費で、予防接種推進事業1億0,024万4千円（高齢者肺炎球菌と新たに水痘、おたふく風邪の予防接種を加え予防接種事業の充実を図る）、教育費は、学校施設の耐震補強等の整備費10億6,763万5千円が主なもの。

当委員会では、次の意見が出された。

昨年労働基準監督署の勧告を受けた小松寮については、今予算に臨時職員の体制、産業医の配置や衛生管理者の対応などが計上され、勧告に基づく改善に向けた取り組みがなされていることを確認した。一方民営化に対する取り組みが遅れていることは、早急に整備に向けた取り組みを要望した。

シルバー人材センター湯布院支店が開店後、需要・供給ともに順調に推移している報告を受けた。行政の中で委託できる事業については洗い直しを行い、高齢者の生きがい対策

であるセンターの支援を積極的に図るべきとの意見を付した。

今年度から始まる「5歳児検診」については、発達障害を早期発見し早期教育を行うために重要な事業と思われる。しかし、「障害」という言葉が誤解を受けやすく、差別的な扱いと受けかねない。個々人が持っている特性のうちの一つが強く出ているといった理解が広くなされるような、広報、研修会や講習会を行い、市民的な理解が進むように求めた。

併せて、生涯を通じて成長に合わせた援助や支援が必要であることから、健康増進課・学校教育課・子育て支援課・福祉対策課など組織横断的な事業推進を要望した。

給食センターの地産地消の取り組みは、地産地消の推進を掲げている農政課が積極的に取り組むべきと指摘した。

新規事業を含め多くの事業が予算化されているが、成否にはマンパワに頼るところが大きいと考えられる。特に専門職が不足しているように見受けられるので、計画的な人事管理により効率的な事業実施が出来るよう市長に強く要望した。

本庁舎方式の移行に伴い、公共建築物の配置や建替えについての議論が始まっている。公民館・図書館整

備も早急に由布市全体の公共物整備計画を整理し、計画的かつ効果的な施設整備を望む意見が出た。

賛成多数で可決すべきと決定した。



教育民生委員

#### ■平成26年度由布市国民健康保険特別会計予算

本予算は歳入・歳出の総額をそれぞれ41億8,815万3千円と定めるもの。前年度比0.3%（1,426万1千円）の増額予算。

当委員会は審査を通して次の意見や指摘事項が出された。

保険事業では、特定検診等第2期実施計画が2年目となり、今年度の目標受診率を特定健診65%、保健指導を48%に設定し、引き続き受診促進の強化や保健指導の充実強化を

図っていくとの説明があった。

医療費増加抑制事業については、特定健診受診者の方が医療受診率が低いという効果が如実に表れている分析結果も出ており、このことを広くPRする方法も取り入れ目標達成を図ってもらい、25年度と同様県の調整交付金経営姿勢良好分の交付を目指して取り組むようエールを送った。

慎重審査の結果、賛成多数で原案を可決すべきと決定した。

この他平成26年度由布市介護保険特別会計予算・由布市後期高齢者医療特別会計予算・由布市健康温泉館事業特別会計予算を審査した結果、賛成多数で原案を可決すべきと決定した。

### 産業建設委員会報告

#### ■平成26年度由布市一般会計予算

当委員会に係る主な歳入は、農林水産業費分担金の県営地域用水環境整備事業、住宅使用料の住宅家賃、道路改良事業補助金の社会資本整備

総合交付金、農業費補助金の中山間地域等直接支払い推進事業費補助金によるもの。

歳出は、衛生費では小型合併処理浄化槽140基分の設置補助金、環境衛生組合負担金。

農林水産事業費では、新規就農者支援事業補助金、地産地消商品開発促進補助金等。

商工費では、商工会補助金、地域経済活性化事業補助金ではプレミアム商品券2万1,600冊、新規で通年発行分5,000冊を発行するもの。

観光整備事業は、観光協会補助金ほか、滞在型・環境型観光推進のための広告料や委託料等。

おんせん県おおいたDC事業は、平成27年7月～9月において大分県では20年ぶりに開催される観光キャンペーンに伴い、5観光協会に対する地域観光情報発信業務委託料が主なもの。

土木費では、由布岳パーキングに接続する高速側道線等の工事請負費、橋梁・トンネル補修等に伴う委託料が主なもの。

委員会の意見として、衛生費では小型合併浄化槽設置補助金は種別の予算充当は困難なため、別枠での補助と、補助の周知徹底。ごみ袋の種

類を増やす等、再度検討を求めた。

農林水産事業費では、就農支援事業の採択要件をクリアするための適切な指導や助言を行うよう求め、ふれあい農園についても今後の運営方法等対応の改善を求めた。

商工費のおんせん県おおいたDC事業については、23年度に実施した福岡アンテナショップ事業が1年で打ち切りとなった経緯を踏まえ、猛省を促すとともに予算執行は過去の二の舞にならないよう慎重に行うよう求めた。

インバウンド受け入れ観光整備事業の外国語対応パンフレットは、日本の文化やマナー遵守の協力を求める項目を掲載するよう求めた。

賛成多数で可決すべきと決定した。

## 質疑

**Q (議員)** 商工費おんせん県DC事業について、予算組み替え等で混乱を招き、理解し難いため、わかり易い予算編成に努めるべきとある、このことが一点。二つ目に地域別に予算配分の偏りがあるが、このことについて。又組織体制一元化事業についてどう議論したのか。

**A (委員長)** 一点目は十分議論を重ねた。観光振興事業とDC事業を別にしたので混乱を招いた。今後委

員会としても注視し調査を重ねていく。二点目は様々な統計をとり各々に配分しているとの説明を受けた。組織編成は、4月1日から準備委員会を設置することのこと。

## ■平成26年度由布市簡易水道事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ8億1,216万9千円とするもの。

委員会では予算編成について、運営が厳しかったため更に調査・研究を重ね、経営改善を図るべきと意見を付した。

全員一致で可決すべきと決定した。

## ■平成26年度由布市水道事業会計予算

収益的収入を5億3,718万9千円、収益的支出を6億746万1千円、資本的収入を1億9,532万5千円、資本的支出を4億24万1千円とするもの。挾間地域の新しい水源確保のための調査区域は、山間部を中心に調査し、6～7月には候補地を特定することのこと。

委員会では随時、調査の経緯を求めた。

また、積立金状況について、減債積立金は全て取り崩しており、建設改良積立金2,200万円のみとの状況を改めて深刻に受け止め、更に

経営改善に努めるよう求めた。  
全員一致で可決すべきと決定した。

## ■由布市庄内特産品販売所「かぐらちゃや」の指定管理者の指定

公募により、申請のあった4団体の審査を行った結果、平成26年4月より新たに「縁(えにし)の里」を指定管理者に指定するもの。

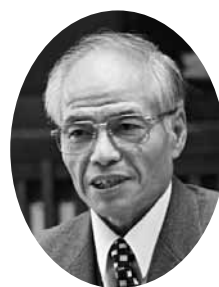
委員会は今後、管理・運営状況を確認するため現地視察を行うこととした。

全員一致で可決すべきと決定した。



産業建設 委員会審査

# 一般質問 市政を問う



加藤幸雄 議員

由布市が管轄する橋、トンネル、道路等について

**Q.** 橋、トンネル等の数と長さほどのくらいあるのか。維持管理はどのように行っているのか。また、維持費はいくらかかっているのか。

**A. (市長)** トンネルは14か所（挾間町3か所、庄内町11か所）、橋は274か所（挾間町69か所、庄内町127か所、湯布院町78か所）あり、国の交付金で業務委託の維持管理を行っている。維持費はトンネル1,800万円、橋は1,750万円。

**Q.** 今後老朽化した施設の補修にかなりの費用が必要となると思うが、どのように対処しようと考えているのか。

**A. (市長)** 補修工事は国の交付金を活用しながら、老朽化の激しいところから随時行っています。全補修対策費用は約21億円。

**Q.** トンネル、橋、道路は住民にとって必要不可欠。耐用年数が経過した施設の調査は業者委託ということだが、職員のチェックはどうなっているのか。

**A. (建設課長)** 特に悪い施設のチェックは職員が目視検査とトンカチで行っているが、全てにおいては出来ないので報告書に基づいている。

**Q.** 維持管理の難しい高速道路の上とか、JRの線路の上等ご苦労があるかと思いますが、市民にとって安心・安全に欠かせない生活手段。今後も適切な維持管理をお願いする。

その外由布市みらい基金について提案を含め質問した。



二ノ宮健治 議員

26年度は、市長3期目のスタートの年であり、第1次由布市総合計画の総仕上げの年である。本庁舎方式の移行に伴う庁舎建設や組織再編など重要な課題が山積しているなかで、市長の決断力と強いリーダーシップが求められている。市長の決意について質問する。

**Q.** 26年度市政運営の基本方針は。

**A. (市長)** 第1次総合計画の総仕上げの年であり、「融和・協働・発展」の「発展」に視点を置いた市政運営を進めたい。このために、健康立市施策や農業振興施策など7つの重点枠を設け、きめ細かな市政運営を行っていく。また、第2期総合計画策定に向けては、「市民満足度調査」

を実施するなど、市民の「行政ニーズの把握」に力をいれ、それに即した計画を策定する。

**Q.** 少子高齢化進行の中で、その影響を一番受けやすい、農村（小規模集落）をどのように活性化し守っていくのか。

**A. (市長)** 「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、農村の持つ「自然環境の保全や水資源の涵養などの多面的機能」と、農村が抱える、「交通手段の確保や自然災害などに対する安全の確保」などの問題点解決に向けて、市の重点施策として力を入れていきたい。

**Q.** 「由布ポタジェ」や「ゆふ野菜塾」、「有機農業の佐藤自然農園」などの民間の力を借りた農業振興策は考えられないか。

**A. (市長)** 農業と観光の連携や生産者と消費者とのコーディネートなどは、行政主導では難しい一面もあり、民間と行政が一丸となった。振興策を検討していきたい。



田中真理子 議員

青少年のスポーツ振興について

**Q.** 児童のスポーツ人口、団体の登録数、指導者の状況は。

**A. (教育長)** 平成24年度で少年団の登録数28クラブ、団員638名、加入率35%、全てに指導者あり。健全育成を目的とする団体については、施設使用料の減免措置がある。

**Q.** 施設利用の公平さは。

**A. (教育長)** 施設の予約は市内団体2カ月前、市外団体1カ月前から。挟間地域は月一度調整会を実施。市内登録団体は3カ月前まで予約できる。

**Q.** スポーツ競技大会の誘致は。

**A. (教育長)** 柔道・剣道・サッカー・ラグビーの4競技を開催。今後も積極的に推進していく。

**Q.** 指導者の養成・育成は。

**A. (教育長)** 市では、日本体育協会主催のスポーツリーダー養成講習会、スポーツ少年団認定養成講習会、県主催の各種養成講習会、セミナーの参加を促している。

**Q.** 施設の整備、充実は。

**A. (教育長)** 体育施設約35施設、今後も整備、充実に努める。

継続中の事業の進捗について

**Q.** 挟間総合型地域スポーツクラブ設立の状況は。

**A. (教育長)** 3月に設立総会。

**Q.** 由布市立挟間幼稚園の改築事業について。

**A. (教育長)** 平成25年度に土地買収が終了。平成26年度は敷地造成工事と、園舎改築工事実施設計業務を計画。園舎改築工事は平成27年度に行う予定。

※この他にも一般医薬品のインターネット販売について、介護保険見直し案について、子ども・子育て支援制度について質問した。



佐藤郁夫 議員

庄内中央公民館の建て替えについて

**Q.** 老朽化していることや耐震化も十分でないことから、早急に建て替えをするべきではないか。

**A. (教育長)** 市の中央公民館の位置づけや、湯布院、庄内公民館等の機能を含めた整備指針等の方向性をだすため、平成26年度社会教育課を中心に関係各位と協議検討を始めて、計画立案していく。

**A. (市長)** 庁舎建設もめどがたっているの、早急に市の公民館としての位置づけを協議し、建て替えをしなくてはいけないという判断をしている。

学校跡地・施設利用基本計画の作成について

**Q.** 廃校された学校について、跡施設が有効利用されていない所もある。早急に計画をつくり有効活用すべきではないか。

**A. (市長)** 学校の跡地有効活用について、市有財産検討委員会でも方向性を検討し、学校施設跡地に特化した委員会等をつくって個別な検討をする。これも大事と認識している。

子育て世代のための住宅確保について

**Q.** これまで子育て世代の住宅についての問題点や市営住宅の必要性、効果を調査検討するとしていたがどうなっているのか。

**A. (市長)** 市営住宅の改修、建て替え等は長寿命化計画に基づき計画的に行う。子育て世代に対して適合するような住宅建設も検討していきたい。



湊野けさ子 議員

地域防災の強化を!!

**Q.** 昨年12月消防団を支援する「地域防災力充実強化法」(消防団支援法)が成立施行された。退職報奨金は全段階で一律5万円上乘せする他、報酬・出勤手当について各自治体に条例改正を求めているが対応は。

**A. (市長)** 退職報奨金は6市3町1村で大分県消防補償等組合に加盟しているが、定例会で条例が改正され、平成26年4月から施行。出勤手当は県内市町村の動向を調査し対応していきたい。

合併処理浄化槽装置の補助のあり方は平等に!!

**Q.** 合併処理浄化槽への補助制度は申請があれば市独自に単費を出して平等に対応すべき。

**A. (市長)** 平成25年度補助申請は国及び県の補助対象枠が109基で、昨年10月22日に締

め切ったが、もれている方に対しては考えたい。

消費税増税の影響に暮らしを応援する施策について

**Q.** 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金は、対象者がわかりやすくもれない様に。

**A. (福祉事務所長)** 受給対象者の確定を6月中に完了し、申請事務を開始し、それから3ヶ月間の申請期間を設定。市報や回覧板などで、一人ももれない様に積極的に情報の提供及び周知に努めたい。

女性のガン対策について

**Q.** 子宮頸がん・乳がん検診に平成21年から5年間無料クーポン券を年齢に応じ行ってきたが、効果はあったか。

**A. (市長)** 子宮頸がん検診受診率は40・77%、乳がん検診受診率は35・7%増加しており、一定の効果はあった。今後もきめ細やかに実施する。

※受診率が上がったのは、常日頃から保健師が積極的にコール・リコール事業を実施していた努力の賜物でした!!



新井一徳 議員

交通事故防止対策について

**Q.** 由布市の所有する公用車の事故の状況と「昼間点灯」の指導は。

**A. (市長)** 公用車の事故件数は、平成23年度6件、24年度11件、25年度10件。走行時の昼間点灯を実施することで公用車の存在を示し、事故の発生を防止できるとして、公用車に点灯を促すシールを貼るなどしている。最近になり点灯している公用車が少ないとの指摘を受け、再度職員に周知徹底を指示した。

**Q.** 事故防止のためにも由布市に由布市職員要領、規定を作る考えはないか。

**A. (総務部長)** 安全運転のマニュアル等、提案の件については取り組んでまいりたい。

雪害対策について

**Q.** 今回の大雪で甚大な被害に見舞われた方が多くあると聞いている。被害状況と今後の対策は。

**A. (市長)** 農作物の被害面積は0.7ha、農業用施設の被害件数は52件、被害金額は約4,000万円。対策としては、今回の積雪災害が大分県特定災害に指定されたことから、被害施設の修復などに必要な資金の低利融資や上乘せ利子補給が行われることになった。被害農家への情報周知と相談窓口の充実に努めていきたい。また、農作物の低温による品質低下や育成障害等の被害を最低限に抑えるため、農業改良普及員の巡回による技術指導を実施していく。

※その他、人口減少対策について質問した。





甲斐裕一 議員

消防庁舎建設に伴う周辺整備、道路網の整備について

**Q.** 緊急時や渋滞時の対応として、新規道路の設置、さらに雨水対策としての排水溝の整備は考えられないか。

**A. (消防長)** 自治区からも、緊急時の避難場所としても好都合なので道路の新設を要望もある。建設課と協議しながら前向きに取り組んでいきたい。

**Q.** 市道高見線について、県道医大バイパス線と県道別府挾間線を繋ぐ路線であるが、狭小なため離合もできない。また通学路にもなっている。児童生徒の安全にもかかわっているの、その解消法として1.5メートルの拡幅はできないか。

**A. (建設課長)** この路線については通学路のため歩道設置も考えた改修を行うことが必要であるが、現在のところ用地等ができれば一部待避所の設置は可能と思われる。

消防団員との連携について

**Q.** 平成27年度より消防団の事務分掌が署に移行されるが、団員の訓練は、署員での実施はできないか。

**A. (消防長)** 訓練については、消防署職員の限界もあるので、消防学校にお願いするしかない。

**Q.** 現在の消防団員は、会社員や自営業のため、地域に居住していないのが現状である。従来の団員は地域の核となつてやつてきた経緯もあるが、今後の団員の確保、位置づけは。

**A. (防災安全課長)** その点は、しっかりと把握しているが、今の現状としてはやむを得ないと考えている。団員の確保は、自治区・部での確保をお願いしている。

旧庁舎の跡地利用は

**Q.** 跡地利用として、由布市自主防災士の拠点所としての利用は考えられないか。

**A. (総務部長)** 建物がかなり老朽化しており、危険度等も考えた再利用となるため、現在のところ具体的な計画はなく、取り壊しも検討しているところである。



長谷川建策 議員

由布院駅前通り、国民宿舎及び社会福祉協議会跡地利用について

**Q.** 跡地等の利用・活用方法について、市として協議をしたことがあるのか。

**A. (市長)** 国民宿舎跡地の短期計画は、現状の緑地部分を活用し、市民・交流者が憩えるひろば的な施設を整備予定。長期計画としては、跡地利用検討委員会から「中央公民館機能を補完する文化・交流・情報発信等を含めた多目的センターの施設」と答申が出されたが、大規模公共施設の建設は、さまざまな議論や検証、検討が必要。市中央公民館等の位置づけや機能を含めた整備指針等の方向性を出す必要があり、平成26年度より社会教育課を中心に協議・検討を始める。また、旧湯布院町社会福祉協議会跡地利用についても、市道六所参宮線沿いに位置していることから、一体

的に議論すべきだと考えている。由布院駅前通り五差路空き店舗についての活用対策については、具体的な計画はなく、所有者への協議は行っていない。

新観光組織の設立について問う

**Q.** 市の核となる新観光組織設立と今後の方向性は。住みよき日本一のまちづくりを目指すためにも、ほかの自治体にはない、さすが由布市といわれるような新観光組織を設立して頂きたい。

**A. (市長)** 「新たな観光組織の設立の今後について」は、本年4月1日から商工観光課内に準備室を設置する方針で、市内観光関係者等と調整を行っている。新たな市の観光について民間と一緒に考え、全国に誇れるような由布市観光をつくっていききたい。

**A. (環境商工観光部長)** 設立準備室には、市の選任職員1名と観光業務に精通した民間からの派遣職員1名を配置する予定。

※その他、雪害対策について質問した。



鷲野弘一 議員

### 由布市水道事業について

**Q.** 現状として健全運営しているのか。給水原価（水をつくる単価）・供給単価（水をつくる単価）はどのようになっているのか。

**A.（市長）** 水道事業の経営状況は、浄水道・簡易水道ともに給水原価が供給単価を上回り、赤字経営となっている。これからの水道統合事業や施設の更新事業等を考えると、財源確保のため水道料金の改定が必要であると考えている。

**A.（水道課長）** 平成24年度の給水原価（1<sup>m</sup>）、挾間町213・43円、湯布院町90・23円、庄内町197・05円。供給単価、挾間町159・33円、湯布院町102・4円、庄内町176・8円となっている。

**Q.** 水道事業は赤字となっているが、今後どのように改善するのか。

**A.（市長）** 経営改善のために、有収率の向上対策並びに料金滞納整理や給水に係る経費の削減に努めるとともに適正な水道料金の検計を行っていく。

**A.（水道課長）** 経営状況は非常に厳しい状況であり、平成26年度に料金の算定委託を行い、水道事業運営協議会にて審議していきたいと考えている。

※その他、ジオパーク構想とぐるつとくじゅう周遊道路について質問した。



生野征平 議員

### 塚原の市有地「メガソーラー契約解除・売却撤回及び賠償」について

**Q.** 再生可能エネルギーの供給が求められているが、国や県のエネルギー転換政策に呼応し、再生可能エネルギー対策及び利用促進について、市長の見解を伺う。

**A.（市長）** 再生可能エネルギーは、促進されるべきだというふうと考えている。

**Q.** 湯布院町塚原の市有地の土地売買契約解除による損害賠償等が生じた場合、その財源措置はどうか、市民の負担となるが行財政改革推進の流れの中、どのように対応するのか。

**A.（市長）** 塚原の市有地売却については、地域の高齢化

や畜産農家の衰退から、地域住民の意向を受け、2012年11月メガソーラー用地として、東京のファンド会社と売買契約を締結した。その後、自然環境保全という県の指導があり、契約解除を決断した。当然当方の一方的解除のため、民事上の問題等が生じると思うが県と相談のうえ対応したい。

**Q.** 塚原地域の県による環境保全についての展望もなく、このまま放置すれば塚原の景観を長期的に維持していけるのか。市長は貴重な地域の資源を生かした市有地の利活用について主体的な政策展開を考慮すべきではなかったか。

**A.（市長）** 県から塚原の全共跡地については、環境保全すべきとの指導があり、市としては議会での大変な議論の中、重みのある議決であったと認識していたので、大変苦しい思いの中で契約解除の決断をした。議会に対しては、対応の遅れから紛糾したことについて、反省している。

26年度予算編成方針と26年度重点  
施策について



野上安一 議員

**Q.** 26年度予算編成方針はメリハリのある予算が編成されているのか。  
**A. (市長)** 市政運営の基本理念を掲げて、「融和・協働・発展」の中で、発展に視点を置いて編成した。特に公共施設の整備に重点をいれ、その具体策として、「行政基盤の確立」や「教育施設の整備充実」等7項目を重点施策としている。

**Q.** 由布市が、健康立市1年を迎えその成果や健康保養地（クアオルト構想推進）づくりについて。  
**A. (市長)** 市民の健康づくりの為に各施策を積極的に行ってきた。特に市の保健師や栄養士は、市民の健康を守る上で重要な職務であるが、多様な市民ニーズにも対応をしていかねばならない。今後由布市の健康立市推進の中心的存在と認識して、適正に配置を検討したい。

滞在型保養温泉地づくり（クアオルト構想）は今後も推進している所で全国の同様の自治体と情報交換をすすめる。

クアージュゆふいんについて

**Q.** 健康温泉館「クアージュゆふいん」のリニューアル構想について。  
**A. (市長)** 建設後24年を迎えている。今後は、修繕計画などの具体的な方策を検討したい。もちろん健康増進施設として、今後も維持存続する。

**Q.** 湯布院の「温湯地域」へのコミュニティバス運行や外国人観光客対応等について聞く。  
**A. (市長)** 温湯地区へのコミュニティバス運行は地元から要望もきている。運行計画検討委員会の意見や関係者の聞き取りアンケート調査の内容を含めて検討していく。地域内に外国人観光客との地域との暮らしでトラブルや戸惑いが発生していることは承知している。今後地域や関係者の聞き取り等を行い対応を考えたい。

由布岳の環境協力金制度は

**Q.** 由布岳環境整備協力金制度の導入計画について聞く。  
**A. (市長)** 由布岳の環境保全は関係機関や地元牧野組合の維持管理によって環境維持が保全されていると考えている。登山者等の自主理解と協力を得て徴収するもので、市としては条例制定は考えていない。

グローバル化対応の英語教育



溝口泰章 議員

**Q.** 国は、'20年の東京五輪開催を目処に小学校での英語教育の高度化をはかり、グローバル化に対応していこうとしているがその内容は。  
**A. (教育長)** 小学校中学年から高等学校までの英語教育によって情報把握、伝達、コミュニケーションまで連なる能力を養うことになる。すでに平成18年から市費で3地域に小学校ALTを各1名雇用している。

**Q.** ツールとしての英語力育成を否定はしないが我が国の伝統や文化を理解し、この国に自信と誇りを持って国際的に活躍する人材を育成するには国語力が土台となる。その点もしっかりお願いしたい。

寺子屋塾での課外授業の内容は

**Q.** 今年度の新事業となる学力向上策は。  
**A. (市長)** 地域人材を募り、地域の歴史や文化の学習から日頃の学習補助まで放課後、夜間、休日を使って行いたい。実施計画と予算化をしている。

合併特例期間の終了に備えて

**Q.** 平成28年度から逓減開始、32年で算定替えが終了、地方交付税は12億円の減額となるがその対策は。  
**A. (市長)** 29年に収支が逆転する。市として全国の協議会や県内合併市と算定見直しの働きかけをしつつ行財政改革を続けていく。

**A. (財政課長)** 中期計画では29年で赤字、34年に基金が枯渇と厳しく試算を行ったが、算定見直しの動きもあり行財政改革の加速で健全な財政状況を目指す。



太田洋一郎 議員

日出生台演習場への米軍オスプレイ配備の可能性について

**Q.** 一部メディアが、沖縄の海兵隊普天間飛行場のオスプレイ12機の機能を大分の日出生台もしくは長崎の大村に移転するのではと報道した。由布市は情報収集しているか、今後の方針は。

**A. (市長)** これまで由布市には協議及び情報等はないが、日出生台演習場への米軍オスプレイ配備は容認できるものではない。

**Q.** 今後も注視し、動きがあれば四者協でリーダーシップをとり断固反対を。

**A. (市長)** 大分県は既に沖縄の負担を十分行っていることを認識している。これ以上容認できないと声を大にして申し

上げる。

訪日客増加に伴う観光施策について

**Q.** 日本を訪れる外国人が昨年1,000万人を超え、政府は2020年の東京五輪までに2,000万人を目指す方針だが、湯布院にも多くの外国人観光客が訪れ、今後さらに増加が予想されるが対応は。

**A. (市長)** 外国語対応の由布市観光パンフレットやマップなどさらに充実を図る。

**Q.** 外国人が安心して訪れるには言葉の意思疎通が重要と考える。市内の通訳できる方の活用等、今後の対応と県へ体制整備を働きかけては。

**A. (市長)** 市内で通訳のできる方をストックしようと考えている。県への働きかけは市長会に諮りたい。

※他に市長の施策方針での農業振興策、就農志望者支援策、観光振興策について質問した。



工藤俊次 議員

消費税率の引き上げに伴う使用料の値上げは見直しを

**Q.** 税率8%への引き上げは、8兆円の大増税。社会保障の負担増・給付減を合わせれば、10兆円という空前の負担増となる。また働く人の賃金が下がり続け、最も高かった年から比べると年間70万円も引き下げられたもとの増税はとうてい認められない。税率の引き上げに伴う使用料等の値上げは見直しを。

**A. (市長)** 維持費が上がる分、利用者に負担していただく。

農政について

**Q.** 食料自給率の向上と、農業・農村の発展のために次の3点について、国への要請を

- 行っていくべきでは。
- ①TPP交渉からの撤退を要請すること。
- ②米など主要作物の需給と価格に、国が責任を持つことを要請すること。
- ③米の生産調整の廃止と、直接支払交付金の縮小・廃止方針を中止するよう要請すること。

**A. (市長)** TPP交渉の結果次第では、本市農業に大きな影響が出ることも予想される。市としては、日本型直接支払いや経営所得安定対策などの制度を最大限活用したい。その他に、特定秘密保護法の撤廃を要請することについて質問した。



年金病院の公的病院としてのあり方について



小林華弥子 議員

Q. 湯布院厚生年金病院が公的病院として4月よりRFOに移

管され、地域協議会を設置することになっているが、どのような組織を設置するのかRFOや厚労省から提示があったのか。

A. (健康増進課長) 由布市が独自に進めている「地域包括ケア推進プロジェクト会議」を核として、観光関係者や商工会の方々に加えた組織の立ち上げをRFOの地域協議会として認めるという内諾をいただいている。

市民、保護者に関わった教育委員会を

Q. 教育委員会制度改正が国会で審議・議論中だ。首長の関与

が強化され政治的中立が保てなくなる懸念があるが、教育委員会の改革をどう考えるか。

A. (教育長) 首長が教育長を直接任命、罷免する権限を持つと、いろんな課題が出て来るかと思う。特に議会との関わり、民意がどう反映されるかというのが気になる。議会が教育委員の任命について審議していただくことは有難い事だと思っている。

Q. 教育委員会制度の根本は教育における民衆統制、いわゆるレイマンコントロールが基本だ。そのためには教育委員会の活動を広く開示し、市民や保護者の監視や関与を常に受けられる身近な開かれた教育委員会に変えていくことが重要だ。教育委員会がいつでもどこで開かれ、何を審議しているのか、広報やHPなどを活用して積極的に知らせていく必要があるのではないか。

※ほかに、人事異動と職員人材育成について、公民館のあり方、総合計画の策定について、質問した。

# 平成26年第1回臨時会が開かれました。

〈1月23日～28日〉

可決

次の議案1件が提案され、審議の結果全員一致で可決しました。

**条例制定** □由布市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例

◆条例概要

由布市の美しい自然環境、魅力ある景観等と急速な普及が進む再生可能エネルギー発電事業との調和を図るため、事業区域が5,000㎡を超える事業を行う者に対して、市への届け出や自治会・近隣関係者への説明等を義務付けるためのもの。

市長が特に必要があると認めた場合は、事業を行わないよう協力を求める抑制区域を市内に定めることができるようになる。

◆制定までの経過

昨年の12月に市民から大規模太陽光発電（メガソーラー）の開発に関する陳情書が提出され、第4回定例会で審議を行った結果、陳情書を採択した。議会での採択結果を受け、今回執行部から条例制定の議案提出が行われた。

◆議員からの指摘や意見

議会からは、短期間で条例制定に取り組まれたこと、早期成立により市の姿勢を対外的に示すことができたことを評価したうえで、次のような指摘や意見を付した。

- ・市民の意見を十分に反映させるために、必要に応じて条例の改正を行うべき。
- ・地域の環境を損なう可能性もあるため、一定の利益が出た場合は施工者から環境整備協力金のような形で、地域へ還元をするべき。
- ・条例の運用は、土地所有者の理解や協力が不可欠。土地所有者の権利が尊重されるように、十分に配慮する必要がある。抑制区域となった場合を考え、土地所有者の税優遇措置等も検討すべき。

■平成 26 年第 1 回定例会で上程された請願・陳情の結果

| 区 分 | 件 名                             | 代表提出者                                  | 結 果 |
|-----|---------------------------------|----------------------------------------|-----|
| 請 願 | 市道の請願について                       | 由布市庄内町小原<br>小原区顧問 生野 道明 ほか 2 名         | 採 択 |
| 陳 情 | ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の<br>拡充に関する陳情 | 由布市挾間町鬼瀬 745 番地<br>全国 B 型肝炎訴訟原告団 工藤 誠二 | 採 択 |

■賛否一覧表 ※○＝賛成、×＝反対、欠＝欠席 工藤安雄議員は議長のため表決権はありません。

(平成 26 年第 1 回定例会) ※その他の議案は、全員賛成で可決となりました。

| 議案名                                                  | 議員名 | 議決結果 | 太田 正美 | 生野 征平 | 利光 直人 | 田中 真理子 | 佐藤 人己 | 淵野 けさ子 | 溝口 泰章 | 佐藤 友信 | 佐藤 郁夫 | 新井 一徳 | 小林 華弥子 | 二ノ宮 健治 | 長谷川 建策 | 甲斐 裕一 | 廣末 英徳 | 鷲野 弘一 | 工藤 俊次 | 加藤 幸雄 | 野上 安一 | 太田 洋一郎 |
|------------------------------------------------------|-----|------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について             |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の制定について         |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について             |     | 継続審査 | -     | -     | -     | -      | -     | -      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -      |
| 由布市都市公園条例の一部改正について                                   |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市簡易水道事業給水条例の一部改正について                               |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市消防手数料条例の一部改正について                                  |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 由布市庄内特産品販売所「かぐらちゃや」の指定管理者の指定について                     |     | 可決   | ×     | ○     | ○     | ○      | ×     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 平成25年度由布市一般会計補正予算（第4号）                               |     | 可決   | ○     | 欠     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ×      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市一般会計予算                                      |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ×      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市国民健康保険特別会計予算                                |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市介護保険特別会計予算                                  |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市後期高齢者医療特別会計予算                               |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市簡易水道事業特別会計予算                                |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市農業集落排水事業特別会計予算                              |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市健康温泉館事業特別会計予算                               |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○      |
| 平成26年度由布市水道事業会計予算                                    |     | 可決   | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ×     | ×     | ○     | ○     | ○      |

由布市議会 広報編集特別委員会

委員長 甲斐 裕一 委員 廣末 英徳  
副委員長 田中 真理子 委員 加藤 幸雄  
委員 淵野 けさ子 委員 野上 安一  
委員 二ノ宮 健治 委員 太田 洋一郎  
委員 長谷川 建策

編集後記

初夏、210号線沿いの色鮮やかな木々の花から新緑まぶしい木々の葉へと移り変わり、季節を目で楽しめた三月・四月でした。議会も改選後、早半年が経ち、予想外の出来事が起きるなど、市政が混乱しかねないと思わずにいられませんでした。穏やかな住み良い由布市になることが市民の願い。現実には厳しいものがありますが、力を合せて目指すまちづくりに努めて行かなければなりません。

今年度も議会だよりを通じてその一端を報告できればと頑張っています。  
ぜひ傍聴にお越し下さい。

田中 真理子